

◆Track2

あつ…！ 来てくださったのですね…。  
よかった…。どうぞ、こちらへ…。

急な申し出なのに、来ていただいてありがとうございます…。

あの…、猫人<sup>ねこひと</sup>のことは…、ご存じですか…？

はい…、見てお分かりだと思いますが、私も猫人です。元々野良猫だったのに、  
気がついたら人の姿になっていて…。

困っていたところを、この教会で拾っていただいた…、という感じです。

それでここからが本題ですが…、猫人は、その…、発情期が基本的にはなくなる  
…、と言われています。

ただ、猫人には世界にたった一人だけ、本能が交わりを求めてしまう、運命の相  
手がいる…、という噂があるんです。

私、ずっと…ただのお伽話だと思っていました。仮にそうだったとしても、世界  
中の人の中からたった一人だけなんて、会えるわけがないとも…。

しかし今日、あなた様に会って、わかってしまいました…。

お会いしたあの時から、身体が熱くて、胸がドキドキして…。

私の運命の人は…、あなた様なんだ…って…。

でも…、でも、わたしはシスター、です…。

神に純潔を誓った身…。本能のままに、その、セツ、セックスをしては、いけな  
いのです…。

ですが、この熱は…、あなた様と出会って感じてしまったこの熱は…、もう忘れ  
ることができそうにありません…。このままだと私、おかしくなっちゃいそうで  
…。

ですから、お願いです…！

セックス以外の方法で…、この熱を鎮めるのを…、手伝ってはいただけでないでし  
ょうか…？

私もどうすればいいか、まったくわからないのですが…、あなた様と一緒に探していけたら、嬉しいです…。

あ…、ありがとうございます…！

受け入れていただいて、すごく嬉しい、です…。

それでは早速なのですが、試してみようと思っていることがあります…。

本に書いてあったのですが、人と人は、ただ触れ合うだけでも、心が満たされていくとことです。

ですのでその…、まずは、だ、抱きしめ合ってみるのは…、どう、でしょうか…？

あっ…♡ んっ…、はあ…、あたたかい…。

あなた様の心臓の音…、聞こえます…。

トクン、トクンって…。

んっ…、緊張、されてるんでしょうか…？

少し、早く感じます…。

んっ…、私も同じです…。

抱き合って、ドキドキして…、鼓動、速くなってます…。

ただの緊張のせいでしょうか…、それともまた違う何か…？

んう…、確かめたい、です…。

もっと、ぎゅーって、してもいいですか…？

んっ…。

はあ…、あなた様の匂い…、熱がもっと近くに…♡

んっ…、ドキドキ、大きくなってしまします…。

んっ…ふう…、心が満たされるって、本当ですね…。

ドキドキ、ふわふわして…、ずっと離れたくなくなっちゃいます…♡

んっ…、ぎゅーっ♡

ふふっ…、ぎゅーってするの、気持ちいい…♡

ぎゅっ、ぎゅーっ…♡

んっ…んう…？

70 お腹に、何か当たって…。

71  
72 これは…、固くて、棒のような…

73 あっ…！

74 これ…、もしかしてあなた様の、おちん…ちん…？

75  
76 ……！

77  
78  
79 お話には聞いていましたが、こんなになっちゃうんですね…。

80 その…、私と抱き合ったせいですか…？

81 はう…♡ そうなんですね…。

82 私と抱き合って、おちんちんこんなに…♡

83 おちんちん…、私のせいで、おちんちんが…、んっ…、おちんちん…♡

84  
85 あの…、差し支えなければ、おちんちん、見せていただけませんか…？

86 はい…、シスターとしては、おかしなことを言ってるのはわかっています…。

87 でも…、私で勃起したおちんちん…、見てみたくて…♡

88 大丈夫です…、セックスするわけじゃありませんから…。

89 見るだけ…、見るだけですから…、お願いします…♡

90  
91  
92 あっ…♡

93 すごい…、これがあなた様の、おちんちん…♡

94 んっ…、固くて…、びくってしてる…♡

95 普段は、もっと小さいんですね…？

96 あっ…、そうですよね、ずっとこのままだったら、歩くの辛いですね…。

97 これって、やっぱり出さないと治まらないんですか…、その…、精液を…♡

98  
99 そう、ですか…。

100 それなら、仕方ないですよね…♡

101 私のせいでこうなったのですから…、治めるのも、私の役目です…♡

102 大丈夫です…、これは神の教えに背くわけではありません…。

103 初めて会った、ただのシスターの私のためにわざわざ時間を作ってください、あ  
104 なた様への…、正当なご奉仕ですから…♡

105 それでは…、失礼して…♡

106  
107 んっ…♡

108 はあ…、熱い、ですね…♡

109 おちんちん…、熱を持って、びくびくして…♡

110 あっ…、先っぽは柔らかいんですね…。他のところはこんなに固いの、不思議  
111 です…♡

112  
113 根元の、袋のようなところ…、ここでお精子…、作ってるんですね…♡

114 触っても、大丈夫なのでしょう…？

115 …優しく、ですね…、わかりました…♡

116  
117 んっ…あっ…、柔らかいですね…♡

118 なんだか、ふにふにして、あ、ごめんなさい…、つい夢中になってしまって…。  
119 近くで見るの、初めてなものですから…。こども、触ると気持ちいいんですか  
120 …？

121  
122 刺激が強い…？

123 あっ…、触る度に、おちんちんの先っぽ、ひくって…。

124 感じてるんですね…。おちんちん、張り詰めちゃってる…。んっ…、あなた様が  
125 興奮しているのを見ると、何だか私まで…。

126  
127 あっ…、いけません。これはご奉仕、ご奉仕なのですから…。あなた様のおちん  
128 ちんを苦しみから解放する、正当なご奉仕なのです…。

129 んっ…、それでは失礼して…。

130  
131 んっ…あっ…、こう…、でしょうか…。私の手でおちんちん、上下に擦ったら、  
132 精液、出るようになるんですよね…。

133  
134 えっ…？

135 よく知ってるね…、ですか…？

136 もう…、からかわないで、ください…。

140 その…、私も、多少の知識はあるんです…。  
141 でも…ん…、もちろんやったことはないので…、んっ…、あなた様を気持ちよく  
142 できているか、不安なところではありますが…。  
143 でも私…、んっ…頑張り…ますね…。

144  
145 んっ…んっ…んう…、私の手の中で…、はあ…、おちんちん跳ねて…、んっ…、  
146 先っぽ…、ぶくつとして…、んっ…、おちんちん…、すごい…♡  
147 んっ…、あなた様のおちんちんに見とれてしまうのは、メスの本能、なのでしょ  
148 うか…。それとも…？

149  
150 んっ…んっ…んう…、おちんちん、痛くないですか…？  
151 そうですか…、上手くできているみたいで、よかったです…。  
152 他にできることがあれば、言ってく下さいね…。んっ…、あなた様がもっと気持ち  
153 ちよくなれること…、教えてください…♡

154  
155 んっ…、お胸を、ですか…？  
156 舐めながら、おちんちんをしごいてほしい…？  
157 んっ…、それでもっと気持ちよくなれるんですね…。  
158 少し恥ずかしいですが…、わかりました。

159 お任せください…♡  
160  
161 んっ…、このような体勢で、大丈夫でしょうか…。  
162 それではお胸の方、失礼しますね…♡

163  
164 んっ…はあ…、んちゅっ…、れろ…れろ…れろ…、ちゅっ…れろ…れろ…、んっ  
165 …、れろ…、れろ…、れろ…、んう…、どう、ですか…♡  
166 んっ…ふう…、気持ち良さそう、ですね…♡

167  
168 んっ…、おちんちん、先っぽから…、ぬるぬるしたの出てきます…。  
169 これは精液、じゃないですよ…。気持ちよくなっている証拠、でしょうか…。  
170 んっ…、いっぱい頑張りますから…、たくさん、気持ちよくなってください…♡

171  
172 んっ…、れろっ…ちゅっ…ちゅう…、れろ…れろ…れろ…、はあ…、んっ…れろ  
173 …れろ…、れろ…、んっ…、おちんちんのぬるぬる…、どんどん溢れて…、私の  
174 手もぬるぬる…♡

175 このぬるぬるでおちんちん擦るの、なんだか、いやらしい音でいっぱい、す  
176 い…♡

178 んっ…ちゅっ…れろ…れろ…れろ…、んっ…はあ…、ちゅっ…ちゅっ…、れ  
179 ろ…れろ…れろれろ…♡

180 んっ…はあ…、おちんちん、すごくびくびくしてる…、出そう、なんですわ…。

181 いいですよ…、このまま私の手の中に、お精子いっぱい、吐き出してください…  
182 ♡

184 んっ…ちゅっ…れろ…れろれろ…んちゅっ…んっ…ふあ…、れろ…れろれろれろ  
185 …れろ…れろれろ…、んっ…、れろれろれろ…れろお…♡

187  
188 あっ…！

189 んっ…、すごい…♡

190 おちんちん、どくどくって…、先っぽから白いの…湧き出てきます…。

191 これが、あなた様の精液…♡

192 すごく、どろどろしてますね…♡

193  
194 匂いも…、んっ…、これが男の人の匂い…。

195 んっ…はあ…♡

196  
197 あっ…、すみません…、ぼーっとしてしまいました…。

198 おちんちん、お拭きしますね…。

199  
200 んっ…しゅっ…。

201  
202 えっ…、あっ…、これ、私のハンカチです。大丈夫ですよ、後で洗濯しますか  
203 ら、気にしないでください…。

204  
205 はい…、全部、拭きました…。すごい量、でした…。

206  
207 んっ…、考えてみたら、とってもエッチなことをしてしまいました…。うう…。  
208 でも…、セックス、したわけではありませんから…、問題はありません…。な  
209 い、はずです…。

210  
211 それにその、エッチなことをして、少し気がまぎれたような気がします。こっ  
212 ったことを、続けていくのがいいのかもしれない…。  
213  
214 もしよろしければ、明日の夜も、こちらにお越しいただけますか…？  
215 また窓の鍵は、開けておきますから…。  
216  
217 あっ…、本当ですか…。ありがとうございます…。その…、嬉しいです…。  
218 それではまた明日、よろしくお願いします。  
219 はい…、おやすみなさい、です…。  
220  
221 んっ…、寝る前にハンカチ洗わないと、ですね…。  
222 ハンカチ…、精液でいっぱい…♡  
223 んっ…、ダメです…、シスターがそんな、不埒な…。  
224 でも…、んっ…はあ…、少しくらいなら…♡  
225 はあ…、んっ…ふう…、匂い、あなた様の精液の匂い…♡  
226 んっ…はあ…♡  
227